が負傷したり、病気にかゝつたと

、元の軍人、軍属であつた方

や、弔慰金が支給されます。

11、「遺族一時金」十万円が支

方の遺族。

「遺族年金」が支給されま

後さらに婚姻した方には、而さ

(1)および(2)とも、再無

れません。

たときは、その遺族に、遺族年金

それを「公務」とみなす範囲

給されます。

ませんか?

ることになりました。

あなたは、どれかにあてはまり

つぎのような方が、恩典によくす

以上のときは、障害年金が支給さ

ん。

は六年〕以内でなければなりませ 期は、退職後二年〔結核と精神病

属であつた方の遺族。(死亡の時

つた方。

(2)

戦没者の父母、

戦没者

気を併発して、

死亡された軍人軍

その負傷や、病気治療中、他の病

11の負傷や病気が、六項症

れます。

(3)

(1)の負傷や病気で死亡され

ら一年(結核と精神病は三年)以け、その戦地勤務を、はなれてか

(2) 六ケ月以上、戦地勤務を続

内に死亡された軍人軍属であつた

姻を解消した方。

間に氏を変えて婚姻をし、そ 昭和二十七年四月二十九日ま 後、昭和二十一年二月一日か 夫婚姻の妻の父母が、

戦没者遺族援護法が改正され、

改正されました

公務とみなされます。

の重大なあやまちによるほかは、 負傷し、病気になつたとき、自分

七月七日以後、戦地で、在職中に

遺族援護法が

が広げられました。

軍属が、

昭和十二年

公務のために負傷し、一

病気になり

戦没者死亡後、

昭和二十一

쯴

旧陸、

海軍の判任など

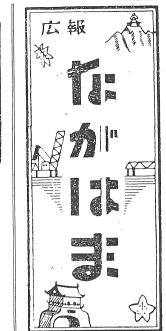
昭和十二年七月七日以後、

案の通り可決され、午後二時に閉

が上程されましたが、

いづれも原

②伊ノ尾林道の延長。



行 発

愛媛県喜多郡 長 浜 町 役 場

9月の人口動態

1

24 6 出生 婚姻

印刷所

男女計

世帯数

所

岸本印刷所

HJ 政 展 堂

件を

H

午前十時から会議室で開かれまし 会定例会は、去る九月二十八日、 昭和三十九年度第三回長浜町議 この定例会には、十一件の議案

②橋立農道。

おもな事項です。 会しました。 以下、今回の町議会できまつた 般会計五千六百万円

①県単道路改艮=①無事喜地線の

道路は、動脈ともいえる

重要なものです。

出石寺給水施設拡張など)

四、土木費、一千二百万円。(

喜多灘と出海漁港の改修など)

(3)水産振興=①魚市場新設、②

三、商工費、二百万円。

(金山

延長、②戒川道路の改良。③町内

百万円。県支出金、二干八百万円 などで、五千六百万円の歳入。 町税、六百万円。地方交付税、三 歳入の部では 一般会計補正予算

慶

(1)地方 3

②児童福祉施設=①青島へ保育

歳出の部では ほか)

道上地区道路改良。 改善施設整備=①水場地区道路舗 一、民生費、六百万円。 ②大谷口地区簡易上水道、

(毎月1回系元子)

保母六名増員など) 所を設置、②出海保育所新築、③

庫建築 = 国の重要文化財の指定を 湾の改修など) 受けた、沖浦観音宝蔵庫の建築費 の道路舗装。2)港湾建設=長浜港 五、教育費、三百万円。

などを補正し、総額五千六百万 今回の補正額、五千六百万円で

の農業基盤整備事業と、その他の 一万二千円になりました。 般会計の總額は、 ブルドーザー設置条例 三億三千七十 当町

①農業構造改善事業=①選果場 二、農林水産費、二千五百万円 (2)林業振興=①峯今坊林道改修

土木事業の円滑適正な推進を図る 場の建設敷地として、町有地一千 ため、この条例ができました。 町有財産貸付契約

共同選果

8.1 8 5 8.7 8 3 6.9 6 8 4.1 0 2 (末日現在) 死亡 11 離婚 4 になりました。 業協同組合に無償で貸与なこと 三百四十九平方メ ル食浜農

猪氏は、去る九月三十日子期が 氏が任命されました。 せんを議会が同意しましたで、 満了しましたが、町長の、†任推 再び、大田亀三郎氏と、 教育委員選任 大田亀三郎氏と、林 日出 町教意員会 林出猪

費用弁償条例の一部改正 額三万円になりました。 委員長は年額五万円、 町教育委員会委員の報と、 委は年

町長の行政 道路は動脈だ 報

ある。 は、動脈ともいえる重要な路で ているのは、道路の問題でる。 大洲、長浜線は、当町につて 当町において、一番問題なつ

予讃線が新たに、内山を多て 近々の内に工 されると
い現

ない。 かなくてはら れに対抗しゆ ことによつと 道路を完成る 在において、

登録

で

B

で

き

ま

す

充

選

拳

名

簿

寄 付 物 件

りがと

511

市

発展したもた の変化に伴い ところが済 昔は、鉄

完全なととほ 道路網の繋

公職選挙法の一部が改正

昭和45年度定成

しても、 現象が現む 発展して、 とのとより ました。 名簿の登録申請の方法が、変わり に調製していました、補充選挙人 され、いままで、選挙があるたび 改正点は、

長浜、大洲 次回に行なわれる選挙に使用する 本人が、申し出ることによつて、 前八時半から午後五時まで)へ、 いつでも、選挙管理委員会(午

長兴

田丁

の再婚を解消した戦没者の妻 年二月一日から昭和二十七年 一十九日までの間に、再婚し 病気が、六項症以上のときは、障傷病とみなされた場合、その傷や 別戸籍の父母などには、補償があであつた方と、その内縁の妻や、 ります。 判任文官なとで、 補償があ 一の公務

所の窓口へおいでください。

三回全国青年

して役場の受付け、または各連絡

手続きは、本人が、印鑑を持参

字下須戒の藤岡

大字白滝の

族年金が支給されます。 妻や、 Ŕ 害年金が支給されます。 (2) 、別戸籍の父母などには、遺死亡されたとき、その内縁のが 判任文官などが、公務のた

などで、 年額七万一千円に増額されます。 られる方は、ことしの十月分から 、現在遺族年金を受けてお六十才未満の戦没者の父母 いうことがいいえる。

見込みだ。

収であるが、この件については、 町全体で協力体制をとつてゆきた とゝで問題になるのは、用地買

を余儀なくされた。 て、長浜町の、三市町で、再編成 あたつては、伊豫市、双海町そし つぎ、海岸線道路整備の推進に

国会議員も出席願い、おたがいの 木部長、道路課長、県議、それに に地区民大会を開き、県から、土 で、当町にあつては、十一月上旬 とつては、大事業といえる。そこ 長浜町、双海町それに伊予市に

強く訴えたい。 よろこばれた上水道

ろこばれた。 期に間に合つて、町民から大変よ 上水道は、ことしの夏の、渇水

熱意のあるところを、関係当局に

た。昭和四十五年度までに完成の 解と、ど協力で、昭和三十九年度

ので、現在、

用地を買収することに決定し 関係者の多大のご理

込みである。 更に内容を充実

られる方々を中心として、若干の 員会にはかつたところ、現在町外 へでておられて、成功をされてお ここで、町民の文化の殿堂とし 備品を充実 特別委

道路が、当町にとつて重要なかと

事を全部完成したい。

寄付をお願いすることにきまつた ての名にふさわしく、 してゆきたいので、先般、

公共施設

終え、三月末日には、この上水道 管を終えて、来年の一月から三月 にかけて、新規申し込みの配管を 十二月末日までに、白滝側の配

なつているが、予定通り完成の見 体育舘は、工期が十一月末日と

とりすすめている。

ま

目

公共物を大切に

ささしてほ 舞台装置などに対する費用を寄付 まとめている るので、ただ して、一流メ **)て、一流メーカーが、是非ともまた、一部分には、特別寄付と** いま、助役が、とり いという話もでてい

育舘であるの せつかく、 立派にできあがる体

的

ちようだいして、名実ともに、町

り上がるお気持ちは、よろこんで

で、完全なものにし 民みんなの施設として、完成した

ておきたい。

える。 記念事業として有意義なものと考 あたるので、内容充実が、合併の つぎ来年は、合併十周年記念に

ない。 集めて体育館を建てようとは思わ また、町内の方から、寄付金を

あるいは、一般の方々も、いすのので、青年団、婦人会、区長会、 一つでも、おたがいが、持ち寄つ しかし、立派な体育舘ができた 充実したいというような、盛

大和第二小中学校 用 洋傘100本 豊茂 宮上 稔 39.3.25 25.000円也 山葉オルガン並椅子 1台 14.000円 白滝保育所母の会 白育保育所備品 " 4,25 プレヤー1個5.600円 大和第二小中学校 PTA **2.** 8 24.000円也 扇風機 11.000円 (三菱扇風機30cmホ ームフアン2H) 沖浦保育所 父母の会 沖浦保育所 *7* 7.21 金10万円也 赤穂 治 青島小中学校備品 *"* 8.8 購入費

J.,

寄 付

3

6 5

者

全国

大会に出場 す る

森川 さん と 藤 岡 さ

h

ケ月以上たつて後行なわれる選挙 住所を移した方。(転入者は、三

に使用する名簿に限られます。)

由に該当しなくなつた方。③

新

する、選挙権、

被選挙権停止の事

公職選挙法第二百五十二条に該当

しく、他の市町村から、長浜町へ

申し出をしなければならない方

満二十才に達した方。

2

年月日

格ができることになりました。

補充選挙人名簿に、登録される資

京の国立競技場で開かれる、第十は、十一月十七日から四日間、東 森川純行さんと、大 大会に、県代表選手 進さんのふたり 生活を樹立し、生産に励み、新し として出場します。 との大会は、健康で、文化的な

十五分二十二秒八=県大会記録) ものですが、森川純行さんは、陸 上競技の一万メートル(タイム三 い日本を建設するために開かれる

の県代表選手です。 とび(六メートル=県大会記録) また、藤岡 進さんは、走り幅

待されます。 励んでいますが、大会の活躍が期 ふたりは、トレーニングに

ましよう。 このふたりに、 絶大な声援を送

ゆずりま

乗り物で 座 Æ E

予防里 動

火事のもと

科の火災

U

割

は

全体に書きこまれているのです。

そして、母のにおいが、ふうと

です。そんなとき、決まつて、頭

に浮かんでくるのは、

「かた」き

の歌です。

「母さんおかたをたたきましよ

母さんしらががあり

けいとなどをあんでくださるそう

母にあまえているのを見ます。そ 歩いていると、小さな子どもが、

だよつてくるのです。時々、道を

うの中から、あふれるように、た

んなとき、わたしも、母にあまえ

ますね………。」と言う歌です

てみたくなるのです。

お正月と、

おぼんだけ

に出てくる、

お母さんのように、

きつと、

わたしの母も、この歌

きなくなつてしまうのです。

たとえば、わたしのうちでは、

(毎月1

れから今まで、

れから今まで、いから今まで、いまりで、 おいま は、父に早く死に分かれ、そせ 中 祥 子

そ

す。

苦労ばかりしてい

おかあさん

青島中学校一年

Ę

いつも、

むねが、そわそわし

て、

ろくに、勉強もできないので

産んでくださつた。

にしか帰つてきません。だから、

お正月や、おぼんが近づいてくる

母の日の作文」

発

表

(6)

でも働きに行つているように思わ いるが、わたしには、東京の方へ

う。」と、そんなことばかり考え

らねえ。」と。

に言つていた。

「どんなことを考えているのだろ

とをしているのだろう。」そして

ただ、「今ごろ母は、どんなこ

るのです。

松山の方へ働きに行つて

たち四人の子どもを、常に心配し れる。時々来る手紙には、わたし

ながら、働いている様子が、手紙

すぎても、

わたしたちの、きる物

決まつた仕事をおえ、十一時を

りだ。

わたしは、いつも、

火の元に注意が第

番多 いタバ ことしも、十一月二十六日から

が非常に多くなります。 用する季節となりますので、火災 火になりやすい季節です。 また、気象条件も悪いので、 十一月ごろから、火気を多く使 大

恋人失格

そんな

不用心な人

大きらい

十二月二日まで全国的に秋の火災 するため、火災予防思想の普及向 予防運動が実施されます。 この運動は、恐しい火災を予防

> することを目的としていますが、 福祉の発展と国民経済の安定に資 財産を火災から守り、社会公共の 今回の重点注意事項は、 上を推進し、 燃焼器具などによる火災防止 事業場などの火災防止 国民の生命、

防火管理の再認識 消防用設備などの適正な維

の

火

守りましよう。 みんなの協力で、町を火災から、 となつています。 危険物施設の事故防止

豊茂、下須戒、白滝および飛川 康診査を行いました。 区で行いました。)

四人でした。 そして、じん臓のわるい方など 五十四人。糖尿病の方、十一人 ように三分の一の方は、高血圧 この検診の結果でもおわかり

検診の時に、高血圧や肝臓が

うことが 大切です。 を受けると同時に、

通より少なめに。 肉を使い、魚類は、 飲み、野菜を多くたべましよう 三、油は、植物性を使い、 一日に二本(三百六十四)

> 声をかけ、おじいさんから女の ので「うしろに乗らない?」と

のかなと思いながら、ついでな

保育園まで、送つていかれる

子をあずかり、自転車で、保育

園までつれて行つた。

名前を聞いたら、

「早苗」

食事療法が大切

成人病検査が示すもの

早期発見、早期治療で、 健康維持につとめましよ

そしてわたしを産み、さらに弟を ているお母さん。兄を二人産み、 四人の子どもを産み、今まで、り 今もなお、母を思い出すのです。 つぱに育ててくださつた、お母さ ん、そして、今もなお苦労を続け しらがが、あるだろうなあ。」と でも、女は、わたしひとり。だ おなかをいためて、わたしたち を立てていても、朝になると 仕事はして上げたい。」と、 まかしてしまつているのです。 祖母に、うちの仕事は、おおか ようと、思つても、なかなかを ねすぎて、わすれてしまうの 祖母をらくに、さしたいと思い から「としよりの日」にだけで 「朝は、早く起きて少しくら だから、これからは、気を付

わりに、ふたり分の女になるつも から、母は、いつも口ぐせのよう わたしは、克彦が、女でない変 「克彦が女だつた 「大きくな うなことをして上げたい。今で 何か、お母さんのよろこぶと します。 つたら、 また、一生の思い出として残な くいきません。でも、母の日 の、どく労は、わたしが大きな きつと、 おんがえし|た

うことになると、ついわすれてで 親を、よろこばせ、らくにして上 な人間になり、たつたひとりの母 つたら、お金をもうけて、りつぱ つていても、いざ実行しようと言 げたい。」と、思つているのです でも、いくら、こんなことを思 したちを今まで、りつばに寛て おたつしやでいてください。 き し上げます。 くださつたこと、 (作文は、 お母さん、それまで、どう 原文のまま掲載. 心から、

そして、老人健康診査は、出海 (成人病の検診は、戒川と豊美 その結果は、つぎのとおり 先般、成人病の検診と、

おつかけてきた。自転車をとめ

イ」といいなから別れた。

私は、早苗ちやんに

긋

秋の防犯運

動

協力を

「おばちやん」とかわいい声が 雨の中を自転車で帰る途中、

教えてくれた。

圧の方、百四人。肝臓のわるい 受診者総数、三百十二人。高

るいといわれた方は、医師の治 食事療法を

一、味は、薄味にいたしま

雨ガツパをつけた女の子とおじ

いちやんに出合つた。

二、肉類は、脂肪の少ない 白身の魚で

高血圧

そしてアルコール類をさけま 五、からし、わさび、コー 米は、七分米にしまし

胡豆

▼納税者の声を聞く

十一月一日から十日まで、全国 いつせいに「納税者の声を聞

頼の度を高めることを目的とした 解決を図つて、 税務行政改善の資料とし、苦情の 者の意見を広く全国から集めて、 この運動は、

すので、この機会に納税者の税金 相当うずもれていると考えられま ものです。 個々の税金に対する不平不満も

についての意見や苦情などを、 しどし発表いたしましよう。

11月1日~11月10日まで おきましょう よくうで 耳のそうごも きようはよくに OUT 0 P=

納税者の声を聞く句向

く」運動が展開されます。 税務署との相互信 税務に対する納税 と町社会福祉協議会(会長は、新

あつて、不便な上に、せまく、さ 園」ができあが 校門を入つた、 いままでは、

年生と六年生、 奉仕でできあ けつくようなが 今回新しくで は、一年生から、四 かつたものです。 炎天下で、汗だくの きた学級園は、五 さらに先生が、や

この学級園

は、あまり役立つていませんでし らに、赤土のため、学級園として

年生までの学級園ですが、四季を しよう。 の片すみで、 通じで、美し ぶ姿を見つめ 子供たちの元気に遊 る日も間近いことで い草花が、グランド

児童に読ませて

母校の! くださ

中野松夫氏

(喜多灘校出身で、

くの道を自転車で走つていたら たその日は参観日で、学校の近 つてなにもいわなかつた子であ て、私はほほえみかけた。 広報文芸 今まで、私が話かけてもだま ふと雨の日のことを思い出し 13 声をかけて下さつたことも、 れしくて雨の日なのに、すがす たちが「どうもお世話さま」と がしい気持を味わつた ちやんとおぼえていてくれて、 「おばちやん」と親しそうに呼 早苗ちやんが、私のことを、 \bigcirc

りました。

重点目標として

自転車を中で

心とした盗難防止

少年非行の追放。などをかっ

秋祭りには、「あ

小暴力と迷惑行為の追放。

「秋の防犯運動強調月間」と定め

観光

シーズンをひか

今月いつぱいを

んでくれたことが、私には、 の上もなくうれしかつた。

を「恋人のようだ」とおつしや 学校の先生が、受持の生徒たち わいいものかと思いながら、 つたことばをふと思い出した。 子供つてこんなに無邪気でか (三好光子主婦 小

は、例年より若

十早められて、十 **圡つき年賀はがき**

全国いつせいに

ことしのお年

お年玉つ

き年賀はがき

一月十二日から、

愛媛新聞から) 会の事業費に充当してほしい。」 五万円を、「長浜町社会福祉協議 父、重利氏の香典返しのかわりに 町長は、先般なくなられた、祖 売り出されます。 香典返し

山月津氏)へ寄付しました。

喜多灘小学校では、夏休み中に ・学級園が一 すぐ右手に「学級 校舎の裏山の中に りました。 できました

\rightarrow

をふきとつて、ワセリンか、ハン が、いまから用心すればかなりふ ドクリームをぬりましよう。 せげるものです。 しようがないとあきらめがちです 洗濯や炊事のあとは、必ず水分

も清潔にしておくことです。よど れを皮膚にしみこませておくこと つぎに大切なことは、手をいつ

転など、事故をおこす原因ともな つい飲み過ぎると、酔つ払い運

現在、東京で、金属会社取締役社 うり新聞』および、

防犯活動の徹底をはかることにな 長) は、 尋常高等小学校黒田分校に入学四で、大正十五年四月一日、喜多灘 ていただくことになりました。 ス』を八月一日から一年間寄贈し ください。」と、『少年少女よみ 年生からは、長浜校へ通学されま した。 中野松夫氏は、大字黒田の生れ 「母校の児童に読ませて 『写真ニユー

寄贈していただくことになつたもく、郷土の児童のためにと、今回中野松夫氏は、母校が忘れがた一 のです。 喜多灘小学校では、このことを

新聞」および、「写真ニユース」児童に伝え、「少年少女よみうり を、大いに役立たせたいと念じて 12号から) います。 (喜多灘小学校々報 第

中心として、みなさんに、協力を

未登録自転車の一掃、などを

呼びかけています。

3

つとふえるため、 き巣ねらい」をは げ、農繁期や、

① るす番を必 じめ、盗難がぐ

ず置く。②

かぎ

かけ運動の励行

編集室

秋深く見ゆる垣根や

を寄附

すぐ十二月になつてしまいます。 仕事に追いまわされているうちに 十一月七日は立冬です。色々と 日ましに寒くなりますから、か えびかずら

ぜをひかないように十分気をつけ ましよう。

なやますのは手の荒れ。冬だから 寒さに向つて、とくに主婦を

そこから、ヒビ割れになりがちで 木の葉が色づいてくると、酒

のです。 の味は格段とうまくなつてくるも ****

ります。 事故をおこしてからでは、

えしがつきません。 事故Oを祈る子があり

妻がある。